

## 新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

### 震災や災害からの復興

長岡市立東北中学校

三年 瀧田 萌

日本は自然災害の多い国です。地震、津波、火山噴火、台風、豪雨、豪雪など、過去に大きな自然災害が沢山起きました。その中でも、二〇一一年三月十一日に、東日本大震災が起きました。日本周辺における観測史上最大の地震で、みんなの記憶にも残る、とても大きな震災でした。地震に伴って発生した津波は街を飲み込みました。福島第一原子力発電所の事故も発生しました。沢山の方が被災して恐怖と悲しい気持ちになりました。でも人間の精神力はとても強く、必ず復興します。壊れてしまった物も、もう一度立て直します。でも、災害にあった地域の被災者の力だけではどうにもなりません。予算もたりません。東日本大震災は被害額が多く、復興特別税と言う復興に当てる財源の確保を目的とした、新しい税金が適用されました。みんなの暖かい気持ちのつまった税金です。この税金の主な使い道は、仮設住宅の建設、道路の修復、がれきの撤去、公共施設の修復や建て直し、高齢者や失業者への生活保護費の支援、福祉サービスや医療サービス、福島原発の被災者への賠償金、自衛隊の派遣など、沢山いろいろな事に使われました。災害にあった街に住む人達が、本当に困っているから助けたい気持ちからできた税金です。

この税金がなかったら、復興に向けて進めなかった事も沢山あったのではないのでしょうか。もし、私がこの街に住んでいたら、私はどうなっていたのでしょうか。どんな気持ちでどんな事を助けて欲しいと思っただけで済んでいたら、どうでしょうか。想像ができません。胸が痛くなるばかりです。

私の住む新潟県中越地方でも、二〇〇四年十月二十三日に、直下型の地震がありました。最大震度七を観測した大きな地震でした。私はその時三歳で、地震の記憶がほとんどありません。でも、ニュースを見たり、その時の話しを聞くと、建物や道路は壊れ、断水や停電などが起きてしまい、ライフラインが寸断されました。食品や日用品がお店に入らなくなって品薄状態が続きました。不便な生活が続いたと思います。そんな状態の中でも余震が続く、精神的にも不安な日々を過ごしていたのだと思います。中越地震の時も、沢山の人達に助けられました。義援金や諸国からの見舞金を頂きました。沢山のボランティアの人達に協力して頂きました。中越地震は、自然災害が起きた時に適用される法として、激甚災害特別措置法に基づいて、復興に係わる費用は、国費から捻出されたそうです。

税金は、私達が暮らして行く生活の中で、本当に必要であり、税金がなければ、生活が成り立たない事がわかりました。特別復興税の様な、みんなの協力が必要とする税金がある事もわかりました。今、私が払っている税金は消費税くらいで、わずかな金額かも知れません。でも、何か大切な必要とされる事に使われていたらと思います。